

総合評価落札方式に係る「自己採点方式」の実施について

1 自己採点方式とは

自己採点方式とは、発注者が定める落札者決定基準（企業の技術力を除いた評価項目）について入札参加者が自己採点する方式であり、発注者は、当該採点に基づいた技術評価点及び入札価格から評価値を算出し、評価値が最も高い者についてのみ、自己採点結果の確認を行います。

2 自己採点の対象

自己採点の対象となる評価項目については、下表のとおりです。簡易型もしくは標準型を適用する工事で設定する企業の技術力に係る評価項目については、発注者が評価します。

型式	企業の技術力に係る評価項目	企業の技術力に係る評価項目を除いたその他の評価項目
特別簡易型	—	自己採点の対象
簡易型	発注者が評価	
標準型		

3 実施の時期

令和6年1月1日以降に公告する工事から実施します。

4 自己採点方式の手順（別紙1参照）

(1) 自己採点表の作成・提出について

- ① 入札参加者は「自己採点表」の様式を、広島市調達情報システムの入札公告の掲載されているページからダウンロードします。（別紙2-1参照）
- ② 「自己採点表」に企業名、代表者名等の必要事項を入力の上、各評価項目の自己採点を行い、自己採点欄に記入します。（別紙2-2参照）
- ③ 作成した「自己採点表」を、入札説明書等で定められた方法により提出します。

(2) 発注者による確認及び落札者の決定

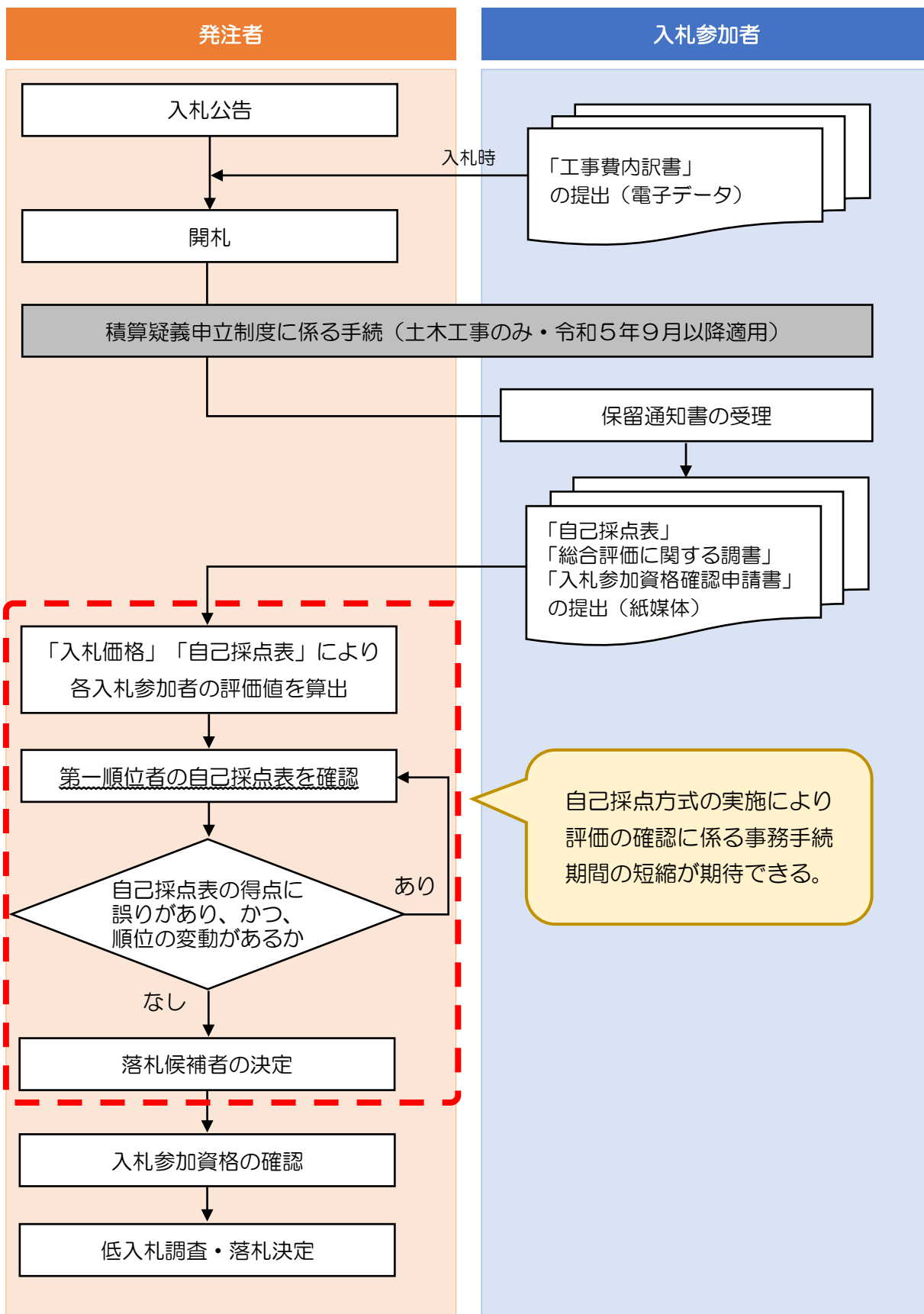
- ① 提出された「自己採点表」と「入札価格」をもとに入札参加者全員の評価値を算出します。簡易型と標準型では、広島市水道局評価部分（企業の技術力に係る評価項目）の得点も含めて、評価値を算出します。
- ② 最も高い評価値の者（以下、第一順位者）について「自己採点表」を確認します。

- ③ 自己採点表の得点に誤りがあった場合、以下の基準に従って評価値を決定します。
(別紙2-3参照)
- 過大評価(「自己採点表」を確認した結果、得点が下がる場合)
… 発注者の確認結果による得点を採用します。
 - 過小評価(「自己採点表」を確認した結果、得点上がる場合)
… 入札参加者の自己採点による得点を採用します。
- ④ ③によって評価値に変動があった場合でも、第一順位者が変わらない場合は、当該入札者を落札候補者として決定します。第一順位者が変動する場合、次点の者の確認を行い、以降落札候補者が決定するまで繰り返します。
- ⑤ ④で決定した落札候補者について、入札参加資格確認、低入札価格調査(該当する落札候補者のみ)を行い、落札者を決定します。

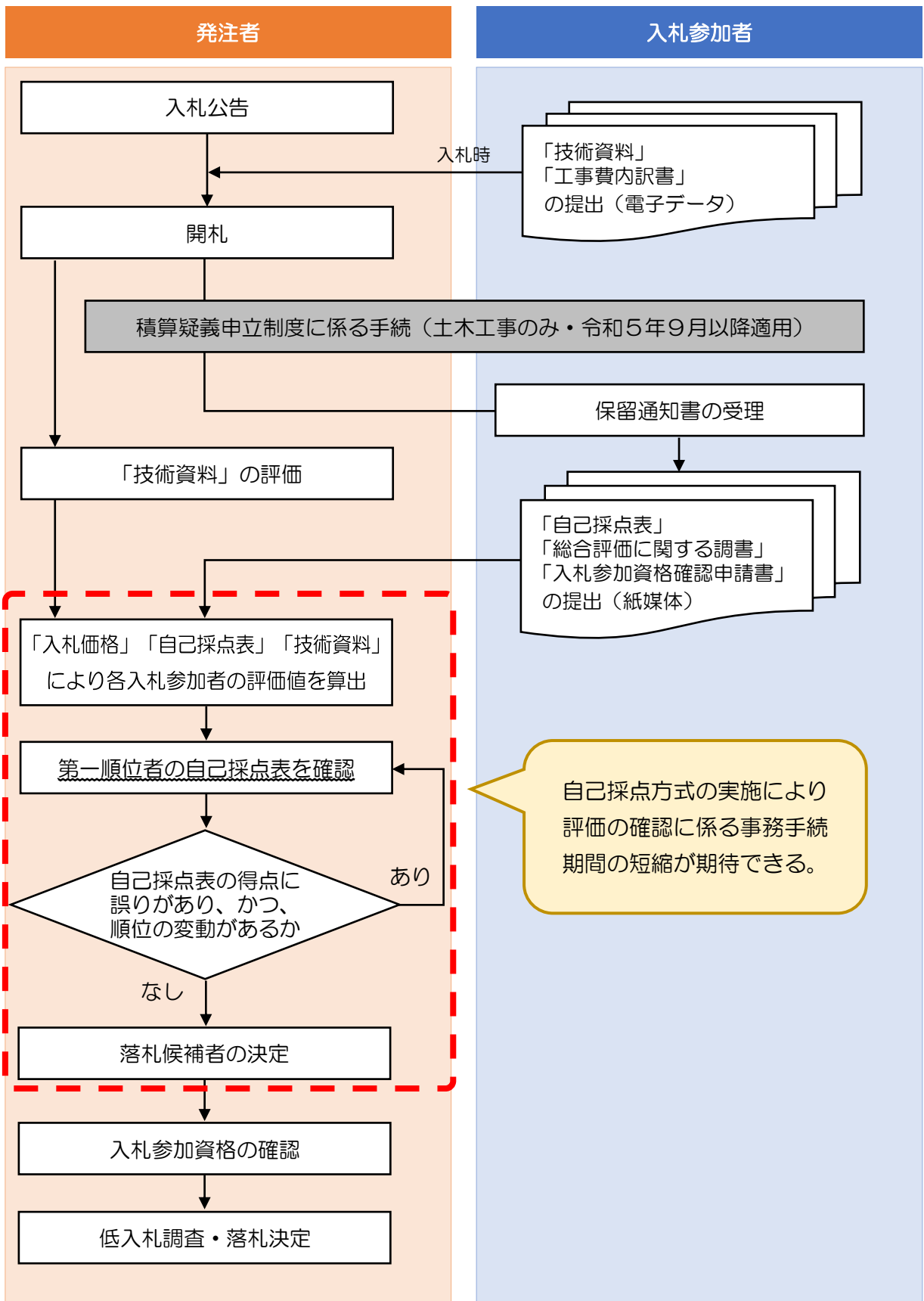
5 その他留意事項

- 各評価項目の評価基準等については、広島市水道局建設工事総合評価落札方式ガイドライン、入札公告の別紙「総合評価に関する事項」及び入札説明書の別紙「総合評価に関する説明書」を参考にしてください。
- 自己採点方式では、原則として、提出された「自己採点表」等をもとに第一順位者となった者が提出した資料のみを確認し、次点以下の者については確認を行わないため、落札決定後に公表する技術評価点、評価値及び入札参加者の順位は正しいものとは限りません。
- 「自己採点表」を提出しない場合又は必要事項が記入されていない場合は、入札を無効とします。
- 「自己採点表」に自己採点の結果が記入されていない場合又その他の理由により評価点を確認できない場合は、該当する評価項目を評価しません。

「自己採点方式」フロー（特別簡易型の例）



「自己採点方式」フロー（簡易型の例）



自己採点表

令和 年 月 日

広島市水道事業管理者

必要事項を入力

所在地	
商号又は名称	
代表者職氏名	

次の工事について、自己採点表を提出します。
 工事名 ○○○○○○○○○○工事

評価分類	評価項目	評価基準	配点	自己採点 (入札者)	確認結果 (発注者)	評価結果
企業の技術力	簡易な施工計画	以下の観点で評価する。 ・実施することが認められるか ・工夫はあるか ・効果が期待できるか ・具体的であるか	8.0 ～ 0.0			／ 8.0
	企業の技術力 計					／ 8.0
企業の施工能力	過去2年間の当該工事に係る工事成績評定点の平均点	算定は次の式による。 得点 = $\frac{(\text{工事成績評定平均点} - \text{当該工種の平均点(A)}) \times \text{配点}(2.5\text{点})}{(\text{当該工種の上限点(B)} - \text{当該工種の平均点(A)})}$ 得点は上記算定式より求めた値の小数第2位を四捨五入し、上限は2.5点とする。 ※(A)及び(B)の値については、入札公告別紙「総合評価に関する事項」を参照。 広島市水道局又は他の公共発注機関の施工実績あり	令和3年件数 2.5 令和3年平均点 令和4年件数 令和4年平均点 令和5年件数 工事成績評定平均点 0.0			／ 2.5
	過去15年間の同種・同規模工事の施工実績	上記以外の施工実績あり 施工実績なし(提出書類の不備を含む)	1.0 0.5 0.0			／ 1.0
	週休2日工事への取組(※)	広島市水道局若しくは広島市 上記に該当なし(提出書類の不備を含む)	1.0 0.5 0.0			／ 0.5
	登録技能技術者の現場配置(※)	現場配置する 現場配置しない(提出書類の不備を含む)	0.5 0.0			／ 0.5
	SO9001認証取得	認証取得あり 認証取得なし(提出書類の不備を含む)	0.5 0.0			／ 0.5
	配置予定技術者の能力 計			0.0		／ 5.0
配置予定技術者の能力	過去15年間の主任(監理)技術者の同種・同規模工事の施工経験	広島市水道局又は他の公共発注機関の施工実績あり 上記以外の施工実績あり 施工経験なし(提出書類の不備を含む)	1.0 0.5 0.0			／ 2.0
	若手技術者の配置	開札日に、配置予定技術者が年齢40歳以下 上記以外の若手	0.5 0.0			
	継続学習制度の単位	次のいずれかに該当すること。 (1)建設OPD協議会に加盟している団体が運営している継続学習制度のうち10単位/年以上 (2)建設OPD運営会議が運営している建設OPD(継続能力/機能開発)情報提供制度のうち10時間/年以上 (評価期間は、公告日の属する年度の前年度4月1日から開札日までの期間のうち、任意の1年間とする。) 上記に該当なし(提出書類の不備を含む)	0.5 0.0			
配置予定技術者の能力 計			0.0		／ 2.0	
地理的	市内における本店の有無	広島市内に本店あり ※工事場所に安芸郡府中町又は安芸郡坂町が含まれる場合は、広島市内に加えて、それぞれの町内も対象とする。 上記に該当なし	0.4 0.0			／ 0.4
	地理的要件 計			0.0		／ 0.4
社会的項目	災害復旧協力等の状況	過去2年間に、広島市水道局又は広島市発注の災害関連工事の受注実績あり 開札日前に、「広島市災害応急対策に係る協力事業者」の登録あり 上記に該当なし(提出書類の不備を含む)	0.4 0.2 0.0			／ 0.4
	障害者雇用の状況	障害者雇用率が4.6%以上 障害者雇用率が2.3%以上 障害者雇用率が2.3%未満(提出書類の不備を含む)	0.4 0.2 0.0			／ 0.4
	男女共同参画への取組状況	次のいずれかに該当すること。 (1)開札日前に、次世代育成支援対策推進法に基づき「一般事業主行動計画」の策定(100人以下)又は認定あり (2)開札日前に、女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づき「一般事業主行動計画」の策定(100人以下)又は認定あり (3)開札日前に、広島市「女性と若者が輝く企業」の認定あり (4)開札日前5年以内に、男女共同参画推進表彰の受賞あり 上記に該当なし(提出書類の不備を含む)	0.2 0.0			／ 0.2
	環境対策への取組状況	次のいずれかに該当すること。 (1)開札日前に、「ISO14001」又は「エコアクション21」の認証取得あり (2)開札日前に、「ひろしまエコ事業所認定制度」の認定あり 上記に該当なし(提出書類の不備を含む)	0.4 0.0			／ 0.4
	広島市内在住の就職困難者の雇用状況等	次のいずれかに該当すること。 (1)開札日前2年以内に、広島市内在住の失業者1人以上を正規従業員として採用し、開札日現在、継続的に雇用していること。 (2)広島県保健福祉部に協力雇用主として登録し、広島市内在住の「保護観察」又は「更正緊急保護」の対象者に対して、次のいずれかの場合 ・開札日前2年以内に、対象者を雇用(雇用形態不限)した実績あり ・開札日前2年以内に、対象者に事業所見学会や職場体験講習の実施あり 上記に該当なし(提出書類の不備を含む)	0.4 0.0			／ 0.4
	建設キャリアアップシステムへの登録状況	事業者登録あり 事業者登録なし(提出書類の不備を含む)	0.4 0.0			／ 0.4
	広島製産品の活用(※)	次のいずれかに該当すること。 (1)対象資材①に該当する資材の使用予定があり、使用予定資材のうち広島製産品の使用予定額計の割合が80%以上あり (2)対象資材②に該当する資材の使用予定があり、使用予定資材のうち広島製産品の使用予定額計の割合が50%以上あり 上記に該当なし(提出書類の不備を含む)	0.2 0.0			／ 0.2
	ボランティア清掃の活動状況	次のうちいずれかに該当すること。 (1)開札日前に、「広島市まちの美化に関する里親制度」の認定を受け、清掃活動を行っている。 (2)公告日前1年以内に、広島市内の公共の場所(道路、歩道橋、河川、用排水路、公園等)で、国、公共団体、または公共的団体による清掃活動に、事業所として2人以上参加した実績を有している。 (3)開札日前に、「広島市環境美化功労者表彰」を事業所として受賞している。 上記に該当なし(提出書類の不備を含む)	0.2 0.0			／ 0.2
職場体験学習等の受け入れ状況	開札日前2年以内に、中学校等(広島市内に所在するもの)が実施する職場体験又は大学、短期大学、高等学校等(いずれも広島市内に所在するもの)が実施するインターンシップを、1回以上受け入れていること。 ※工事場所に安芸郡府中町又は安芸郡坂町が含まれる場合は、広島市内に加えて、それぞれの町内も対象とする。 上記に該当なし(提出書類の不備を含む)	0.2 0.0			／ 0.2	
広島市内企業の活用状況(※)	本件工事において、予定している下請企業(次下請)がすべて広島市内に本店を有する企業(以下「市内企業」という。)であること(下請承認がない場合は、元請企業が市内企業であれば、下請企業がすべて市内企業とみなす。) ※工事場所に安芸郡府中町又は安芸郡坂町が含まれる場合は、広島市内に加えて、それぞれの町内も対象とする。 上記に該当なし(提出書類の不備を含む)	0.2 0.0			／	
社会的項目 計			0.0		／ 3.0	
合計			0.0		／ 18.4	

表内は着色部のみ入力
黒塗り部は入力不要

注1 本自己採点表は、「総合評価に関する調査」と併せて工事担当課へ持参すること。
 注2 表内のすべての着色部分について、該当する評価点を選択又は数値を入力すること。なお、「自己採点(入札者)」欄に未記入の項目がある場合又はその他の理由により評価点を確認できない場合は、当該評価項目を評価しない。
 注3 配置予定技術者を複数の技術者で申請する場合は、配置予定技術者の能力に係る評価項目の得点の合計が最も低い技術者の合計点を記入すること。
 注4 共同企業体での申請の場合、(※)印のある評価項目については、代表者の得点で評価を行うため、代表者以外の者についても代表者の評価点を記入すること。
 注5 その他、本自己採点表の記入にあたっては、入札公告別紙「総合評価に関する事項」、入札説明書及び「総合評価落札方式に係る「自己採点方式」の実施について」を参照のこと。

自 己 採 点 表

令和 5年 ○月 ○日

広島市水道事業管理者

所在地	〇〇市〇〇区〇〇町〇〇丁目〇番〇号
商号又は名称	株式会社〇〇〇〇
代表者職氏名	代表取締役 〇〇 〇〇

次の工事について、自己採点表を提出します。

工事名 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇工事

評価分類	評価項目	評価基準	配点	自己採点 (入札者)	確認結果 (発注者)	評価結果
企業の技術力	簡易な施工計画	以下の観点で評価する。 ・ 実施することが認められるか ・ 工夫はあるか ・ 効果が期待できるか ・ 具体的であるか	8.0 ～ 0.0	2.5		2.5 / 8.0
	企業の技術力 計					8.0
企業の施工能力	過去2年間の当該工種に係る工事成績評定点の平均点	算定は次の式による。 得点 = (工事成績評定平均点 - 当該工種の平均点(A) [※]) × 配点(2.5点) (当該工種の上限点(B) [※] - 当該工種の平均点(A) [※]) 得点は上記算定式により求めた値の小数第2位を切捨てた値とし、上限は2.5点とする。	令和3年件数 1 令和3年平均点 82.50 令和4年件数 3 令和4年平均点 84.60 令和5年平均点 84.08	2.5 ～ 0.0	2.5	2.5 / 2.5
	過去15年間の同種・同規模工種 選休2日工事への取組(※)			1.0 0.5 0.0	1.0 0.5 0.0	1.0 0.5 0.0
	登録基礎技能者の現場配置(※)				0.5 0.0	0.0 0.0
	ISO9001認証取得				0.5 0.0	0.5 0.0
	配置予定技術者の能力				4.5	4.5
配置予定技術者の能力	過去15年間の主任(監理)技術者 規模工事の施工経験			1.0 0.5 0.0	1.5	1.5
	若手技術者の配置			0.5 0.0		0.0
	継続学習制度の単位	1)建設業OPD協議会に加盟している団体が運営している継続学習制度のうち10単位/年以上 2)建設OPD運営会議が運営している建設OPD(継続能力/機能開発)情報提供制度のうち10時間/年以上 (評価期間は、公告日の属する年度の前年度4月1日から開札日までの期間のうち、任意の1年間とする。) 上記に該当なし(提出書類の不備を含む。)		0.5 0.0	0.5	0.5
	主任(監理)技術者の資格	指定した資格あり 指定した資格なし(提出書類の不備を含む。)		0.5 0.0	0.5	0.5
配置予定技術者の能力 計				1.5	1.5	
地理的要件	市内における本店の有無	広島市内に本店あり ※工事場所に安芸郡府中町又は安芸郡坂町が含まれる場合は、広島市内に加えて、それぞれの町内も対象とする。 上記に該当なし	0.4 0.0	0.4	0.4	0.4
	地理的要件 計				0.4	0.4
社会的項目	災害復旧協力等の状況	過去2年間に、広島市水道局又は広島市発注の災害関連工事の受注実績あり 開札日前に、「広島市災害応急対策に係る協力事業者」の登録あり 上記に該当なし(提出書類の不備を含む。)	0.4 0.2 0.0	0.4	0.4	0.4
	障害者雇用の状況	障害者雇用率が4.6%以上 障害者雇用率が2.3%以上 障害者雇用率が2.3%未満(提出書類の不備を含む。)	0.4 0.2 0.0	0.2	0.2	0.2
	男女共同参画への取組状況	次のいずれかに該当すること。 ①開札日前に、次世代育成支援対策推進法に基づく「一般事業主行動計画」の策定(100人以下)又は認定あり ②開札日前に、女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づく「一般事業主行動計画」の策定(100人以下)又は認定あり ③開札日前に、広島市「女性と若者が輝く企業」の認定あり ④開札日前5年以内に、男女共同参画推進表彰の受賞あり 上記に該当なし(提出書類の不備を含む。)	0.2 0.0	0.2	0.2	0.2
	環境対策への取組状況	次のいずれかに該当すること。 ①開札日前に、「ISO14001」又は「エコアクション21」の認証取得あり ②開札日前に、「ひろしまエコ事業所認定制度」の認定あり 上記に該当なし(提出書類の不備を含む。)	0.4 0.0	0.4	0.4	0.4
	広島市内在住の就職困難者の雇用状況等	次のいずれかに該当すること。 ①開札日前2年以内に、広島市内在住の失業者1人以上を正規従業員として採用し、開札日現在、継続的に雇用していること。 ②広島県労働観測所に協力雇用主として登録し、広島市内在住の「保護観察員」又は「更正緊急保護」の対象者に対して、次のいずれかの場合 ・ 開札日前2年以内に、対象者を雇用(雇用形態不限)した実績あり ・ 開札日前2年以内に、対象者に事業所見学会や職場体験講習の実施あり 上記に該当なし(提出書類の不備を含む。)	0.4 0.0	0.0	0.0	0.4
	建設キャリアアップシステムへの登録状況	事業者登録あり 事業者登録なし(提出書類の不備を含む。)	0.4 0.0	0.4	0.4	0.4
社会的項目 計				2.2	2.2	
合 計				8.6		18.4

入札公告別紙「総合評価に関する事項」、
入札説明書、ガイドライン等を参考に
該当する評価点を選択
※プルダウンのないセルは数値を入力

注1 本自己採点表は、「総合評価に関する調査」と併せて工事担当課へ持参すること。
注2 表内のすべての着色部分について、該当する評価点を選択又は数値を入力すること。なお、「自己採点(入札者)」欄に未記入の項目がある場合又はその他の理由により評価点を確認できない場合は、当該評価項目を評価しない。
注3 配置予定技術者を複数の技術者で申請する場合は、配置予定技術者の能力に係る評価項目の得点の合計が最も低い技術者の合計点を記入すること。
注4 共同企業体での申請の場合、(※)印のある評価項目については、代表者の得点で評価を行うため、代表者以外の者についても代表者の評価点を記入すること。
注5 その他、本自己採点表の記入にあたっては、入札公告別紙「総合評価に関する事項」、入札説明書及び「総合評価落札方式」に係る「自己採点方式」の実施についてを参照のこと。

